

# 入院診療計画書 「 膝蓋骨骨折 でご入院の

さんへ」

(病名)	(症状)	(説明日)	年	月	日	(ご本人・ご家族)	確認サイン			
経過 月 日	入院時	手術前日	(術前)	手術当日	(術後)	術後1日目	2日目	3日目	7日目	10日目退院
到達目標										
治療 処置 リハビリ テーション	必要であれば内科医の診察や検査があります。	手術する部位の除毛を行います。 排便が無ければ緩下剤の内服もしくは浣腸をします。	点滴を行います。	点滴は食事がとれるようになるまで続きます。 抗生剤は約1週間あります。 手術時尿を自然に出すための管が尿道に入られます。 手術した方の足へ装具をつけます。 ニーブレース装着	尿の管を抜きます。	手術した所のガーゼを交換します。	病室でリハビリが始まります。 状態に応じて機械で膝を曲げていきます。 CPM(膝曲げの器械)を50度から始めます。 1/3荷重開始。			手術した所の糸が取れます。
手術	□無 ・ □有 (術式: )									
検査	入院時に次の検査があります。血液・尿・心電図・レントゲン			手術後レントゲンがあります。	血液検査があります。			血液・尿検査、レントゲンがあります。		
薬剤 服薬指導	日頃から飲んでいる薬やアレルギーを起こす薬があればお知らせ下さい。	就寝前に下剤を飲みます。 眠れない時はご相談下さい。						薬剤師が薬の説明をいたします。		
全身管理 症 状	今までにかかった病気等についてお伺いします。 血圧や脈拍、体温を測ります (退院まで毎日測ります)。	風邪に気を付けてうがいや手洗いをして下さい。		手術部位の痛みのほか頭痛、吐き気などがなければお尋ねします。 その他何でも遠慮なくお尋ね下さい。	痛みがあればお知らせ下さい。					
食事 栄養指導	特別な栄養管理の必要性 □有 ・ □無 普通食または治療食です。 必要に応じて栄養状態を良くするための支援を行います。	24時以降食べたり飲んだりできません。		手術後病室へ戻ってから腸の動きを聴いて水を飲んでいいかお伝えします。  それまでは飲めません。	ガスが出ると食事ができるようになります。  全粥から、常食へと上がっていきます。					
安静度	膝に装具をつけて車椅子で移動することが出来ます。				手術をしていない方の足で立ち、車椅子に乗ることが出来ます。			状態によってニーブレース装着し、松葉杖歩行が出来るようになります。		
清潔	身体を拭きます。				身体を拭きます。			創部を保護してシャワー浴を行います。		
患者・家族 への説明	主治医が入院中の診療計画や手術について説明します。 検査によっては入院前に行なうことがあります。 看護師が入院生活や手術の必要物品について説明しますので準備して下さい。 治療・福祉などのご相談がある場合は、看護師か相談員にお尋ねください。	手術室の看護師が訪問します。 手術当日のことを説明します。 手術同意書を提出して下さい。		御家族の方へ主治医より手術後の説明があります。  						主治医より今後の治療、退院について説明があります。 看護師より退院後の生活について説明があります。 退院後の注意事項や次回受診日について説明があります。

※症状により、予定と異なる場合があります。分からないことがあれば、お気軽に主治医や看護師にお尋ね下さい。

※なお、この計画書を病院側から受け取られた後は、患者さんの責任の下、保管していただきますようお願い申し上げます。

( 病棟 号室) 主治医 印 担当看護師署名 担当者署名